




Photobook

群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室の 取り組み 2023-2024



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

 群馬大学
手話サポーター養成プロジェクト室
SIGN LANGUAGE

PROJECT

2017年、日本財団の助成により産声をあげた群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室。現在は第2期事業として「聴覚障害に関わる支援人材育成を目的とした遠隔手話教育システム」を展開しています。私たちの願いは、日本手話を母語・第1言語とするろう児が教育、職業、社会生活全般にわたって情報アクセスが保障され、社会において活躍できるようにするための支援者が増えていくことです。日本手話とろう文化という、日本語とは異なる言語・文化的背景を持つ人々を支援するには、高いレベルの日本手話スキルが必要になります。ところが、日本では高等教育機関で体系的・専門的に日本手話や手話通訳を学べる制度や環境が整っていません。そして学習機会も指導・学習の質も地域格差が大きくなっています。群馬大学ではコロナ禍を経て、教育実践と研究を積み重ねながら作りあげてきた「群大方式」の日本手話・手話通訳の授業を、全国どこでも受講することができるようにさまざまな事業に取り組んでいます。



受講生の声

実践的なトピックを通して、手話の表現だけでなく、ろう者の文化や生活についても楽しく学ぶことができました。

(手話奉仕員養成コース・医学部1年)

とにかく随所での先生方の工夫を感じます。オンライン授業の講義記録動画を自分のペースで予習・復習に活用できるのも大きな魅力です。

(ベーシックコース)



受講生の声

様々な通訳場面を想定して通訳練習を重ね、コツを教わりながら試行錯誤して取り組むことができ楽しかったです。

(手話通訳者養成コース・共同教育学部2年)

ただ直訳しても上手く伝わらないという、日本語と日本手話の言語としての違いをととても感じました。

(手話奉仕員養成コース・医学部1年)



受講生の声

通訳についてなかなか基本的な学習をする場がなく、この講座は大変勉強になりました。

(公開講座・日本語の文法)

ろう学校の赴任にあたり「新しいことを学習しなければ！」という責任感や切迫感を感じていました。そんな私にとってタイムリーな研修となりました。

(免許法認定通信教育)



受講生の声

盲ろう者通訳介助の講義では、触手話や点字、介助歩行について盲ろう者と実際に関わりながら学び、貴重な経験をさせていただきました。

(共同教育学部卒業生)

社会人の手話学習者にとって、日本語・手話通訳について体系的に指導を受けられる機会は貴重です。

(アドバンスコース)



群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室では手話教育、手話通訳養成、ろう教育について、ここでしか学べないプログラムを提供しています。

ろう者の教員が、授業の担当に加え指導法や教材開発を行なっている点にも大きな特徴があります。

手話とろう文化

2度にわたって群馬大学ベストティーチャー賞を受賞した大人気の授業。群馬大学・宇都宮大学・公開講座のすべてを合わせて400人以上が受講しました。学生によるオープニング、教員が演じるワクワク・ドキドキのスキット、ろう文化や手話の文法の解説と、盛りだくさんの90分を、スタジオから画面合成して配信します。



言語としての日本手話

市長として立候補演説をしたり、絵本のストーリーを手話で語ったり、ろう者の有名人を紹介したり…と実践的なコミュニケーション活動の中で、日本手話の文法を着実に身につけていきます。授業中は音声禁止。手話を見る「目」を鍛えます。課題は難しいけれど、どんなふうにしようかと手話で相談し合うグループワークはとても楽しい時間です。



日本手話と 日本語の違いを学ぶ

手話ができることと通訳ができることの間には高い壁があります。手話ディベートやインタビュー活動などで「瞬発力」をさらに磨きつつ、要約練習や原稿つき通訳、短い談話の同時通訳に取り組んでいきます。難しい通訳課題や通訳者としての職業倫理の問題にも共に笑い、共に悩み、共に問題解決を図りながら成長していきます。集大成は美術館でのガイド通訳です。



聾重複・盲ろう児者支援

手話スキル・手話通訳スキルを習得した4年生や、大卒生を対象にした専攻科生向けに、聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児者のための支援技術を学ぶ授業もあります。身体表現活動、触手話や指点字の実技指導など、「ふれあい」を大切にする授業です。



事業を支えるスタッフたち



授業準備と授業に追われる日々ですが、だからこそチームワークが大事。そして手話の会話が当たり前の日常が、スタッフたちの表情をいきいきとした良い笑顔にさせてくれています。



スタッフからのメッセージ

日本手話をやってみたいけど難しそう…と思っているみなさん、ろう教育についてろうの当事者でもある教員から学んでみたいと思っているみなさん、手話サポーター養成プロジェクト室のプログラムにチャレンジしてみませんか。

学生 YouTuber

2022年度から始めた、学生 YouTuber による公式 YouTube。学生の目線を活かした魅力的なコンテンツが配信されています。これも、「手話サポーター」の1つの形だと考えています。



学生 手話サポーター養成プログラム

社会人

文部科学省職業実践力育成プログラム
厚生労働省専門実践教育訓練指定講座（アドバンスコースは申請中）
日本手話実践力育成プログラム

ろう児・者が、手話を母語／第1言語として獲得し、手話で教育を受け、手話であらゆる社会的サービスにアクセスできるようにするには、高度な手話コミュニケーション力を持った支援人材が欠かせません。本プログラムでは、厚生労働省手話奉仕員・手話通訳者養成カリキュラムの基準を満たした授業を、学生には教養教育及び専門教育として対面で、社会人には履修証明プログラムとしてオンライン・オンデマンドで平日夜間に開講しています。本プログラムは、音声言語の第2言語習得理論・外国語教授法・通訳理論を取り入れた体系的かつ効果的な学びと指導を特徴としています。

1年間で日本手話を習得

【到達目標】

- CEFR A2— B1 レベルの日本手話運用力
- 1,500 語以上の手話語彙
- 日本手話の基本文法の理解・産出
- 聴覚障害者の生活や社会に関わる基礎知識

【コース名】

- **手話奉仕員養成コース（1年次）**
言語としての日本手話 I・II（全学対象）
- **ベーシックコース**
日本手話講座 I・II

手話奉仕員資格を取得するには、コース修了後、市町村での認定手続きが必要です。手話奉仕員資格を運用していない場合であっても、一般的には都道府県で実施する手話通訳者養成講座の受講資格が得られます。

1年半で手話通訳の基礎スキルを習得

【到達目標】

- CEFR B2 レベル以上の日本手話運用力
- 3,500 語以上の手話語彙
- 日本手話と日本語の意味的等価性を保持した正確な通訳力
- 通訳者としての職業倫理に則った効果的な判断と行動
- 手話通訳者の理念と仕事、健康管理に関わる知識

【コース名】

- **手話通訳者養成コース（2～3年次）**
日本手話と日本語の違いを学ぶ I・II・III（共同教育学部対象）
- **アドバンスコース**
手話通訳講座 I・II・III

コース修了をもって、各都道府県登録手話通訳者認定試験（手話通訳者全国統一試験を含む場合もあり）の受験要件を満たします。

各コース修了により、デジタル修了証（オープンバッジ）を発行

プログラムを修了した後は？

聴覚特別支援学校教員に求められる手話を用いた教育実践力を磨くための授業を開講しています。また、盲ろう者向け通訳・介助員の資格を取得するための授業も設けています。

● 4年次

- SDGs 総合演習 日本手話を活用した聴覚障害者支援の実践
- 聴覚障害教育演習 C（ろう重複障害児向けの指導技術の習得）
- 聴覚障害教育演習 D、E
（厚生省盲ろう者向け通訳・介助員養成課程相当）

● 学生手話サポーターの活動

手話を学んだ学生たちは、「手話サポーター」として、学内のさまざまな活動に参加しています。

社会人 公開講座

群馬大学の日本手話・手話通訳・ろう教育の授業の一部を体験することができます。オンラインまたはオンデマンドで実施しますので、全国どこからでも受講できます。学生の方は無料です。

ライブ感をお楽しみいただける同時双方向型のオンライン公開講座

- 期間中、全9回の講義となります。
- 期間中いつでも講義動画を見返すことができます。

社会人の方でもライフワークにあわせて受講可能なオンデマンド公開講座

- ご自身の都合の良い時間に学習できます。
- 音声通訳・手話通訳・文字通訳がついています。
- 使いやすいe-ラーニング用システム(LMS)にログインするだけで受講できます。

【開講科目名】

手話スキル	ろう児者支援・手話通訳のための知識（講義）	
手話とろう文化	ソーシャルワーク論	聴覚障害の理解
日本手話の文法	遠隔時代の手話通訳	ろう重複

社会人 免許法認定通信教育

特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者）を取得したい方、聴覚障害児教育の専門知識を深めたい方のための通信教育です。

【本通信教育の特徴】

1. 聴覚障害の医学的・心理学的な知識が学べます。
2. 一種免許の申請に必要な単位を取得できます。
3. オンデマンド配信の講座で自由な時間に学べます。
4. 「ろう重複」について専門的に学べます。
5. 大学院進学のための一種免許取得を目指せます。

【開講科目】

- 聴覚障害児の心理・生理及び病理
- 聴覚障害児の教育課程と指導法
- 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育





Photobook

群馬大学手話サポーター
養成プロジェクト室の取り組み
(2023-2024) 2024年■月発行



HPはこちら

国立大学法人 群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4丁目2番地
<https://sign.hess.gunma-u.ac.jp>
TEL : 027-220-7157 (直通) FAX : 027-220-7390
E-mail : signstaff@ml.gunma-u.ac.jp

公式 SNS



YouTube



instagram



facebook



X(旧 Twitter)

手話サポーター養成プロジェクト室からの情報は二次元バーコードからご覧下さい。